

## ベリカットV9.4 日本語版インストールガイド

### ベリカットのインストール手順

ベリカットを正常にインストールするためには、以下の手順で作業を進めます。

I. インストール環境の確認	はじめに
II. Windows のユーザーアカウント制御(権限)の一時的な変更	手順 1～ 2 ※要再起動
III. ライセンスサーバーの確認と準備	手順 3～ 4
IV. インストーラーの準備とベリカット本体のインストール	手順 5～18
V. ライセンスサーバーのインストールとライセンス情報の登録	手順 19～25
VI. ベリカットをクライアントPCで使用する場合の設定	手順 26～27 ※要再起動
VII. Windows のユーザーアカウント制御(権限)の復元	手順 28 ※要再起動
VIII. ベリカットの起動確認	手順 29

\*ユーザーアカウント制御変更(II)を省略するとライセンスファイルが正常に作成されない場合があります。

\*作業中にエラーの発生など手順書との相違が生じた場合は巻末の「付録3 手順索引」をご覧ください。

### ベリカットのインストール環境

インストール作業の開始前に必ずハードディスクの空き容量、使用OS等のインストール環境を確認して下さい。

ベリカットの推奨動作環境は巻末の「付録2 ベリカットの動作環境」をご確認下さい。

ハードディスク容量	フルインストール時8GB 以上の空き容量 (サンプル、電子マニュアル等を含む) 各オプションを追加する際は上記より空き容量が必要になる場合があります。 *インストール時は、上記に加え2GB 以上の空きディスク容量が必要です。
Windows OS	Windows10/11 64bit (CATIA-V5 インターフェイスは Windows Script5.3 以上) *「Windows Virtual Machine (VM)」等の仮想マシンはサポートしません。 *Windows10(32bit 版)は対応しておりません。

**【重要】**インストールは管理者(administrator)権限のアカウントでログインした上で行って下さい。

(右クリックの「管理者として実行」では正常にインストールできません。)

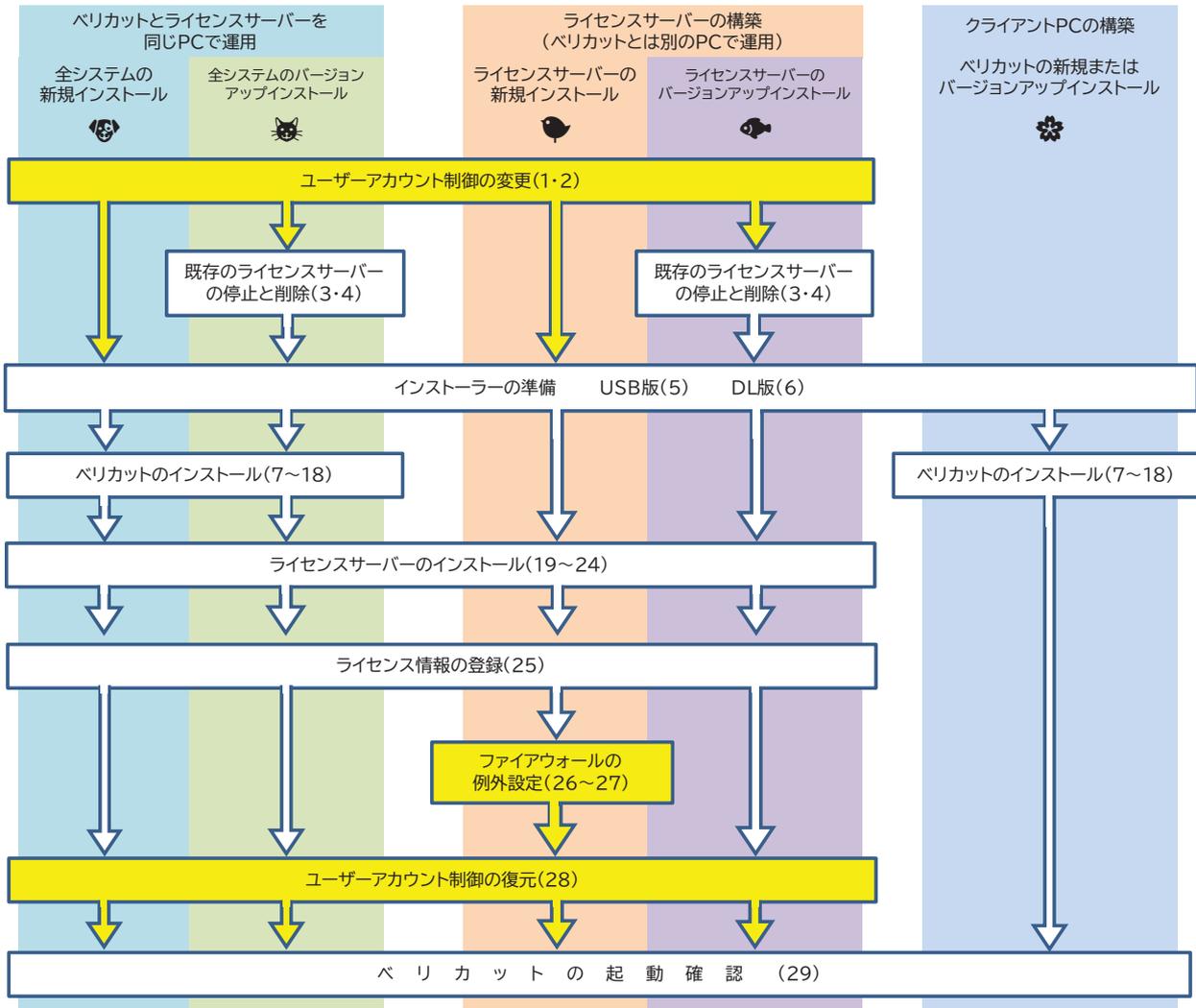
## はじめに インストール作業の確認

ベリカットとライセンスサーバーは、同じPCにインストールしてスタンドアロン環境として使用、またはそれぞれを別のPCにインストールしてネットワーク環境で使用することができます。

構築したい環境により、インストール作業の内容が変わりますので、以下の作業フローを確認して下さい。

作業フロー毎に参考用のアイコン(🐱🐱🐱🐱🐱)を表示していますので各項の番号表記と併せてご参照下さい。

作業フローに併記されている数字は、次ページ以降の作業手順の項目番号に該当します。



\*黄色表示の作業工程では、操作の最後にPCの再起動が必要です。

\*ベリカットを起動するためには、ライセンスサーバーにライセンス情報を登録する必要があります。

\*追加で購入したオプションモジュール等のライセンスを、運用済みの環境にあとから追加登録する場合は巻末付録(3)手順索引の「手順25」の項をご覧ください。

ベリカットのライセンスサーバーを運用する環境で、インストール作業の前に必要な手順です。  
この作業ではPCの再起動を伴います。

※ベリカット本体のみを単独で PC にインストールする場合(🌸)は、手順(5)から始めてください。  
手順(1～4)は必要ありません。

## 1. ユーザーアカウント制御の一時的な無効化

Windows のシステムフォルダー内にライセンスファイルを作成するには、システムフォルダーへの書き込み権限が必要です。そのため、一時的にログインアカウントの設定を変更します。  
またインストール作業の完了後には**必ず元の設定に戻して**ください。

- (1) 管理者(Administrator)権限のアカウントでWindowsにログインします。  
\*アカウントの権限は Windows の[🖥️(スタート)]>[⚙️設定]>[👤アカウント]で確認できます。
- (2) Windows のタスクバーにある検索フィールドに、キーボードから[uac]と入力します。
- (3) 表示された「最も一致する検索結果」リストから、[👤ユーザーアカウント制御設定の変更(コントロールパネル)]を選択します。
- (4) 「通知レベル」の現在の設定値を確認します。  
(全作業完了後に元の設定に戻すため、右下図にメモ等すると便利です)
- (5) 通知レベルを一番下の「通知しない」にします。
- (6) 
- (7) 「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？」のアラートに[はい]
- (8) コンピューターを再起動させて、設定内容を反映させます。



## 2. 再起動したWindowsにログインする

手順(1)で設定を変更した管理者(Administrator)権限のアカウントでWindowsにログインします。

バージョンアップでライセンスサーバーを伴うインストール(🐱🐻)を行っている場合は、次の手順に進みます。  
新規インストール(🌸🐻)を行っている場合は、手順(5)に進みます。手順(3・4)は必要ありません。

ライセンスサーバーが既に稼働している環境で、ライセンスサーバーのバージョンアップを行う作業(🐱🐟)で必要な手順です。

※新規のインストール(🐶🐱)および、ベリカット本体のみのインストール(🌸)は、手順(5)に進みます。

### 3. ライセンスサーバーの準備(1) ライセンスサーバーの実行パスの確認と停止

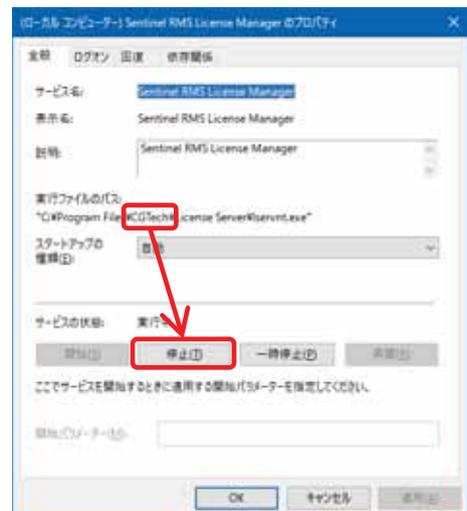
以下の手順は既存のベリカット(V7.1x~V9.x)をインストールしている場合のみ行います。  
 新規にベリカットの環境を構築している場合は、ベリカット本体のインストール後にライセンスサーバーのインストールを行います。

現在使用中のライセンスサーバーのバージョンを確認してから、サービスを停止します。

- (1) Windows のタスクバーにある 🔍 をクリックして、検索ボックスを開きます。
- (2) [services]と入力して、候補リストから[🌐 サービス(アプリ)]を選択します。
- (3) 「Sentinel RMS License Manager」の上で右クリックして、[プロパティ]を選択します。



- (4) 「Sentinel RMS License Manager のプロパティ」で、「実行ファイルのパス」の内容から現在使用中の実行元を確認します。右図例では弊社提供のソフトウェアで実行したと判断できます。CGTech 関連以外のパスから実行されている場合は状況毎に対処が異なりますので技術サポートまでお問い合わせ下さい。



- (5) **停止** ボタンを押します。  
 「サービス」一覧ウィンドウで、「Sentinel RMS Manager」の状態が「空白」に変わったことを確認します。



- (6) ここで使用したウィンドウをすべて閉じます。

#### 4. ライセンスサーバーの準備(2) 既存のライセンスサーバーのサービス削除

ベリカットのプログラムグループから、サービス削除のコマンドを管理者として実行します。

- (1) [スタート]メニューを表示し、メニューリストで[CGTech サーバー管理]グループを展開表示します。
- (2) サーバー管理グループ内の[ライセンスサーバーのサービス削除]の上で、右クリック>[その他]>[ファイルの場所を開く]を実行します。
- (3) 表示されたスタートメニューの実体パス内にある[ライセンスサーバーのサービス削除]の上で右クリック>[管理者として実行]をクリックします。
- (4) コマンドプロンプトに「Removing license server service...」と表示されると、正常に削除されています。
- (5) キーの押下を要求されたら、キーボードの Enter キーを押します。



なお、バージョンによりグループ名が上記と異なる場合もあります。その場合は、前の手順3(4)で確認したパスに表記されたバージョンのグループをご確認ください。

#### インストーラーの準備 (5～6)



USB版およびダウンロード版で行う、全てのインストール作業に必要な準備です。

#### 5. インストーラーの準備 (USB版)

- (1) 製品USBメモリをPCのUSBポートに装着します。
- (1) Windows のエクスプローラーを起動し、[PC]をクリックします。
- (2) 装着した USB(リムーバブルドライブ)の中身を表示します。



#### 6. インストーラーの準備 (DL版)

- (1) ダウンロードしたZIPファイル(dvd\_941\_ja.zip)の上で右クリックし、コンテキストメニューで[すべて展開(T)...]を選択します。  
\*ダウンロード URL はベリカットご担当者様に個別にお知らせしております。
- (2) 「圧縮(ZIP 形式)フォルダーの展開」ウィンドウで、展開先がローカルフォルダーになっていることを確認し、[展開(E)] ボタンを押します。
- (3) ZIPファイルの展開で作成された[dvd\_941\_ja]の上で右クリックし、コンテキストメニューで[開く]を選択します。



ベリカットを新規またはバージョンアップでインストール(🐱🐼🌸)を行う作業です。  
ライセンスサーバーのみのインストール作業(🐼🐼)は、手順(19)に進みます。

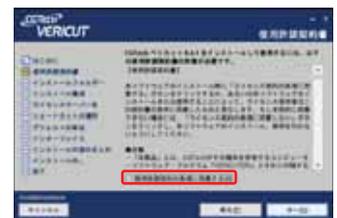
## 7. インストーラーの起動

- (1) インストーラーの準備で表示したフォルダー内で、直下に格納されている「**V**vericut\_install\_v941.exe」をダブルクリックします。
- (2) インストーラーが開始したら、表示言語選択し、**OK**ボタンを押します。  
\* 表示言語は English／日本語のいずれかをリストで選択できます。



## 8. ベリカットのシステムインストール(1) 使用許諾契約書

- (1) 「はじめに」のページで内容を確認し **次へ(N)** ボタンを押します。
- (2) 「使用許諾契約書」を一読し、内容を確認した上で「使用許諾契約書の条項に同意する」にチェックを入れて、**次へ(N)** ボタンを押します。  
**キャンセル** をクリックすると、インストール作業の終了を選択できます。



## 9. ベリカットのシステムインストール(2) インストール先の指定

- (1) インストール先のフォルダーを指定します。  
入力内容を初期設定に戻す場合は **デフォルトのフォルダーに復元する(R)** を押します。  
**選択(O)...** を押すと、インストール先として任意のフォルダーを指定できます。
- (2) **次へ(N)** ボタンを押します。



## 10. ベリカットのシステムインストール(3) システム構成の選択

- (1) インストールする構成を指定します。通常は「**🐼すべての構成**」を選択します。  
インストール内容を変更したい場合は、「**🐼本体と電子マニュアル**」または「**🐼カスタム**」選びます。
- (2) **次へ(N)** ボタンを押します。  
\*「カスタム」選択時は次画面で構成内容(ベリカット／電子マニュアル／サンプルとトレーニングのファイル)をチェックボックスで選択し、**次へ(N)** を押します。

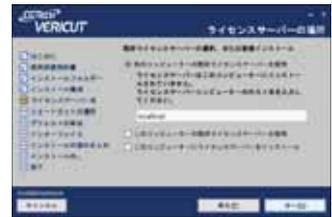


## 11. ベリカットのシステムインストール(4) ライセンスサーバー

(1) ライセンスサーバーの参照先を指定します。

「別のコンピューターの既存ライセンスサーバーを使用」は、ネットワーク上の別PCでライセンスサーバーを運用する場合に選択し、テキストボックスでそのホスト名を指定します。

(指定例 ホスト名:server001/IPアドレス:192.168.0.1 など)



「このコンピューターの既存ライセンスサーバーを使用」および、「このコンピューターにライセンスサーバーをインストール」は、ネットワークを介さずにスタンドアロンでベリカットを使用する場合に選択します。

(2)  ボタンを押します。

## 12. ベリカットのシステムインストール(5) ショートカットの作成場所

(1) ショートカットを作成したい場所にチェックをつけます。

デスクトップ／クイック起動バー／プログラムグループを選択できます。

\*プログラムグループのチェックは極力外さないでください。

プログラムグループを作成しないと、Windows のスタートメニューからベリカットの各種操作が利用できなくなります。

(2) 「すべてのユーザーにアイコンを作成する」は、必要に応じてチェックします。

(3)  ボタンを押します。



## 13. ベリカットのシステムインストール(6) 作成するアイコンの選択

(1) 「VERICUT」または、「VERICUT Single Platform」のいずれか(ご購入になった製品)にチェックを入れます。

(2) 以下のシステムも直接起動の必要性に応じて選択できます。

- ・Reviewer
- ・VERICUT Drilling and Fastening(VDAF)
- ・ToolMan
- ・AssemblyManager

(3)  ボタンを押します。



#### 14. ベリカットのシステムインストール(7) デフォルトの単位の選択

- (1) ベリカットで新規ファイルの作成時に選択されるデフォルトの単位を「インチ」または「ミリ」のいずれかを指定します。
- (2)  ボタンを押します。



#### 15. ベリカットのシステムインストール(8) ヘルプ方式の選択

- (1) ベリカットで表示するヘルプの仕様を「オンライン(英語版)」または「ローカル」のいずれかを指定します。  
\*日本語版のヘルプは「ローカル」方式で用意されています。
- (2)  ボタンを押します。



#### 16. ベリカットのシステムインストール(9) オプションモジュールの選択

- (1) オプションを購入されている場合は、該当製品の項目にチェックを入れます。
  - ・Esprit インターフェイス  
(TNG Build20/Build19)
  - ・Edgecam インターフェイス  
(2023.1/2022.1.2228/2022.0.2211  
2021/2020.1/2020)
  - ・Mastercam インターフェイス  
(2024/2023/2022/2021/2020/2019)
  - ・GibbsCAM Interface  
(2024/2023/2022/2020/2019)
  - ・PowerMill Interface
  - ・Teamcenter Interface
- (2)  ボタンを押します。



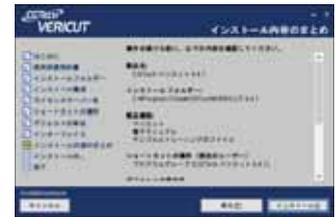
\*指定したソフトウェアにより、次画面でフォルダーの確認画面が表示されます。  
パスを確認して  ボタンを押します。

## 17. ベリカットのシステムインストール(10) インストール内容の確認と実行

- (1) 「インストール内容のまとめ」ページで内容を確認します。
- (2) **インストール(I)** ボタンを押すとインストールが開始されます。

\*インストール内容を変更したい場合は **戻る(B)** ボタンを押し変更箇所まで戻り、設定内容を変更して下さい。

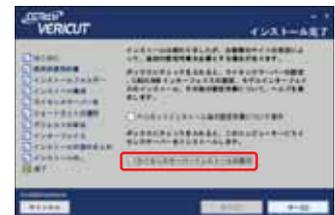
\*インストール実行中は最新インフォメーションが画面に表示されます。



## 18. ベリカットのシステムインストール(11) インストールが終わったら

インストールを終えると「インストール完了」の画面に切り替わります。

- (1) 以降の作業について確認したい場合は、『ベリカットインストール後の設定作業について表示する』にチェックを入れておきます。
- (2) 続けてライセンスサーバーをインストールする(🌸🐱)には、「ライセンスサーバーインストールの実行」にチェックを入れておきます。(右図赤枠)
- (3) **次へ(N)** ボタンを押します。
- (4) **完了(O)** ボタンを押し、インストーラーを終了します。



ライセンスサーバーも同時にインストール、またはバージョンアップを行う場合(🌸🐱)は次の手順に進みます。ベリカット本体のみをインストールする場合(🌸)は、手順(26)に進みます。手順(19～25)は必要ありません。



ライセンスサーバーを新規またはバージョンアップでインストール(🐱🐱🐱🐱)する場合の作業手順です。  
V9.4のベリカットを使用するには、既存のライセンスサーバーも必ず最新のバージョンにする必要があります。  
ベリカット本体のみをクライアントPCに構築している場合(🌸)は、手順(26)に進みます。

### 19. ライセンスサーバーのインストール(1) インストーラーの起動

手順(18)で「ライセンスサーバーインストールの実行」にチェックを入れた場合は、自動的にライセンスサーバーのインストールウィザードが起動しますので、そのまま次の手順(20)に進みます。

自動起動しない、またはベリカット本体はインストールせずにライセンスサーバーのみをインストールする場合は、以下の手順でライセンスサーバーのインストーラーを起動します。

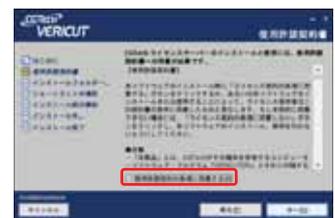
- (1) Windows のエクスプローラーを起動し、インストーラーの格納フォルダー[ dvd\_941\_ja]を表示します。
- (2) 「 license\_server\_install.exe」をダブルクリックします。

\*格納フォルダーはインストーラーの準備(手順5・6)で確認したZIPファイルの解凍先(ローカルフォルダー内)、または USB メモリ内です。



### 20. ライセンスサーバーのインストール(2) 使用許諾契約書

- (1) インストーラーの表紙で、『日本語』を選び **OK** ボタンを押して次に進みます。
- (2) 「はじめに」のページで内容を確認し **次へ(N)** ボタンを押します。
- (3) 「使用許諾契約書」を一読し、内容を確認した上で「使用許諾契約書の条項に同意する」を選択し、**次へ(N)** ボタンを押します。  
**キャンセル** をクリックすると、インストール作業の終了を選択できます。



### 21. ライセンスサーバーのインストール(3) インストール先の指定

- (1) インストール先のフォルダーを指定します。  
入力内容を初期設定に戻す場合は **デフォルトのフォルダーに復元する(R)** を押します。
- (2) **次へ(N)** ボタンを押します。



## 2.2. ライセンスサーバーのインストール(4) ショートカットの作成場所

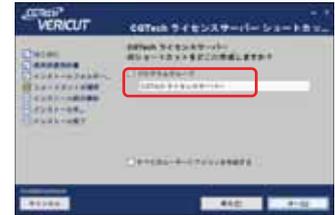
(1) 登録するプログラムグループを確認します。

\*プログラムグループのチェックは極力外さないでください。

プログラムグループを作成しないと、Windows のスタートメニューからライセンスサーバーの各種操作が利用できなくなります。

(2) 「すべてのユーザーにアイコンを作成する」は、必要に応じてチェックします。

(3)  ボタンを押します。



## 2.3. ライセンスサーバーのインストール(5) インストール内容の確認と実行

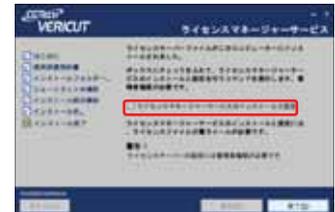
「インストール前の要約」ページで内容を確認し、 ボタンを押すとインストールが開始されます。

インストール内容を変更したい場合は  ボタンを押して変更箇所まで戻り、設定内容を変更して下さい。



## 2.4. ライセンスサーバーのインストール(6) インストール完了

「ライセンスマネージャーサービスのインストールと設定」にチェックがついていることを確認し、 ボタンを押し、インストーラーを終了します。





ライセンスサーバーの新規インストール、またはバージョンアップを行う場合(🐼🐱🐶🐰)に必要な作業です。

## 25. ライセンス情報ファイルの登録

弊社よりベリカットの担当者様宛に電子メールにてベリカットのライセンス情報が届きます。  
送られてきたライセンス情報を使用して、ライセンスファイルの作成と環境変数の設定を行います。

(1) 「ベリカットライセンスファイルの作成」ウィンドウが表示されます。

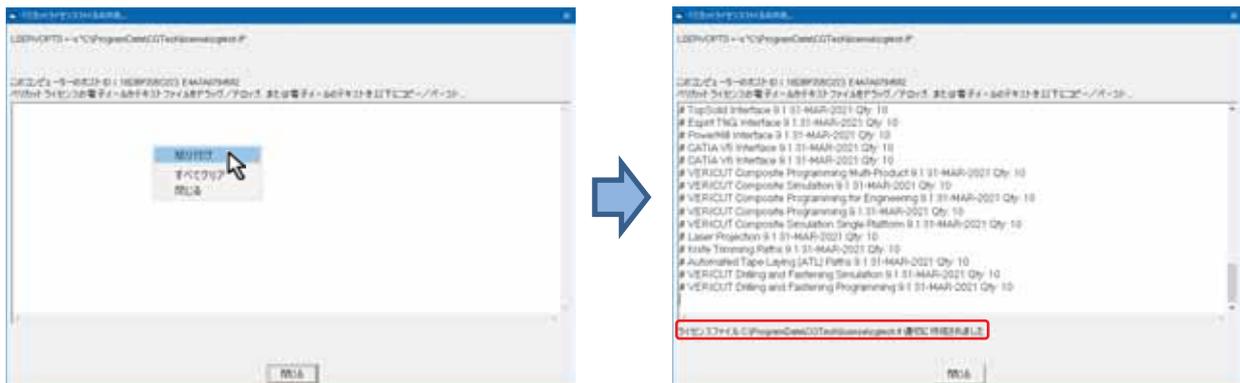
環境変数に「LSERVOPTS」が未定義の場合には、  
ウィンドウ上部に警告が表示されます。

**更新** ボタンを押下して環境変数を定義させます。



(2) ライセンス情報メール内の下部に記載されている「# Company」の行から、文末の「# End of license」までの間のテキストをコピーします。

(3) 「ライセンスファイルの作成」ウィンドウ内に、手順(2)でコピーした内容を貼り付けします。



正常に処理が終了すると「ベリカットライセンスファイルの作成」ウィンドウの最下部に  
「ライセンスファイル C:\ProgramData\CGTech\license\cgtech.lf 適切に作成されました」とメッセージが表示されます。

(4) **閉じる** ボタンを押してライセンス作成ウィンドウを終了します。



(5) 読み込んだライセンスファイルで、センチネルサーバーサービスを自動的に登録して開始します。

(6) 「システムを再起動する」にチェックを入れ、**完了** ボタンを押してインストーラーを終了します。



クライアントPCから参照するライセンスサーバーの新規構築(🐰)では次の手順にすすみます。

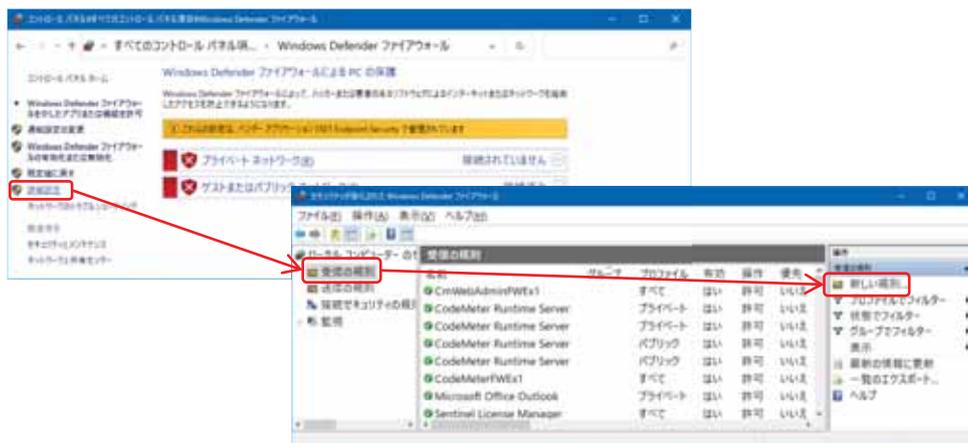
ライセンスサーバーを他PCから参照しない、または既に構築済みの場合(🐼🐱🐶)は、手順(28)に進みます。  
手順(26・27)は必要ありません。

以下の手順は、ライセンスサーバーとベリカットを別のPCで使用する場合に、ライセンスサーバー側で必要となる作業です。  
 これらを同じPCで運用する場合は手順28(UACの有効化)に進んでください。

## 26. ベリカットをクライアントPCで使用する場合の設定(1)ファイアウォールの例外設定

この作業は、次の手順(27)の最後にPCの再起動が必要になりますのでご注意ください。

- (1) Windows のタスクバーにある をクリックして、検索ボックスを開きます。
- (2) 「control」と入力して、候補リストから[ コントロールパネル ]を選択します。
- (3) コントロールパネルで、[ Windows Defender ファイアウォール ]  
 (カテゴリ表示の場合は、[ システムとセキュリティ ] > [ Windows Defender ファイアウォール ])
- (4) サイドメニューで「 詳細設定 」を選択します。
- (5) ファイアウォールの設定ウィンドウで、[ 受信の規則 ]を選択します。
- (6) 右側の操作リストで[ 新しい規則... ]を選択します。



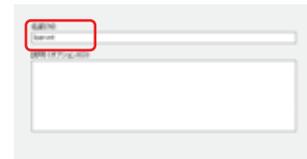
- (7) 「新規の受信の規則」ウィザードで規則の種類に「プログラム」を選択して、  を押します。
- (8) 「このプログラムのパス」の  を押します。
- (9) 「C:\Program Files\CGTech\License Server\lservnt.exe」を選択して  を押します。  
 なお、手順(21)でライセンスサーバーのインストール先をデフォルトのフォルダーから変更している場合は、変更内容に準じて設定してください。
- (10)  を押します。



- (11) 操作の選択で、「接続を許可する」を選択して、**次へ(N)** を押します。
- (12) 規則の適用でドメイン、プライベート、パブリックのすべてにチェックを入れ **次へ(N)** を押します。  
 \*パブリックにチェックを入れるときはシステム管理者に相談の上、行ってください。



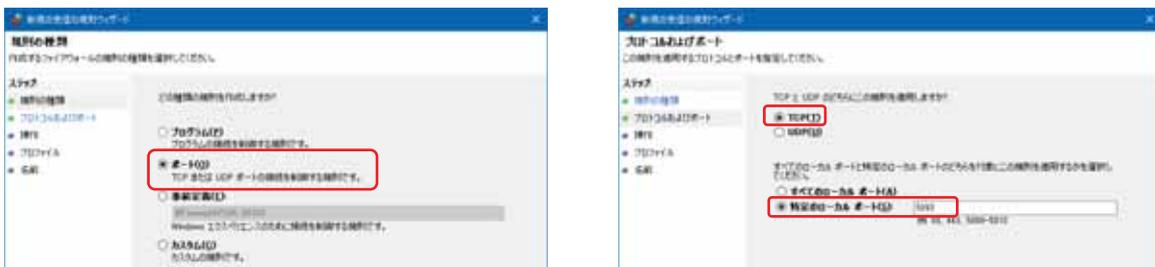
- (13) 任意の名前(例:lservernt 等)を入力して、**完了(F)** を押して設定を終了します。



## 27. バリカットをクライアントPCで使用する場合の設定(2)ファイアウォールのポート設定

ネットワークライセンスの環境で使用するためには、ライセンスサーバー側で Windows のファイアウォール設定を変更し、Sentinel License Manager が認証に使うポートを解放する必要があります。

- (1) ファイアウォールの設定ウィンドウで、**[受信の規則]**を選択します。
- (2) ウィンドウ右側の操作リストで**[新しい規則...]**を選択します。
- (3) 「新規の受信の規則」ウィザードで規則の種類に「ポート」を選択して、**次へ(N)** を押します。
- (4) プロトコルの選択に「TCP」、指定のローカルポートに「5093」を入力して、**次へ(N)** を押します。



- (5) 操作の選択で、「接続を許可する」を選択して、**次へ(N)** を押します。
- (6) 規則の適用でドメイン、プライベート、パブリックのすべてにチェックを入れ **次へ(N)** を押します。  
 \*パブリックにチェックを入れるときはシステム管理者に相談の上、行ってください。



(7) 任意の名前(例:lservernt 等)を入力して、**完了(F)**を押して 設定を終了します。



(8) PC を再起動させて、設定を適用させます。

## ユーザーアカウント制御の復元 (28)



ライセンスサーバーを伴う新規またはバージョンアップのインストール(🐱🐱🐱🐱)で、作業のために変更した設定を戻すための手順です。

この作業ではPCの再起動を伴います。

### 28. ユーザーアカウント制御 (UAC) の有効化とコンピューターの再起動

手順(1)で行ったユーザーアカウント制御の変更を初期の設定に戻します。

- (1) Windows のタスクバーにある検索フィールド(🔍)にキーボードで[uac]と入力します。
- (2) 検索結果リストから[👤ユーザーアカウント制御設定の変更(コントロールパネル)]を選択します。
- (3) 通知レベルを手順(1)で確認したデフォルトの設定に直します。
- (4)  OK
- (5) コンピューターを再起動させて、設定内容を反映させます。

## ベリカットの起動確認 (29)



インストール作業がすべて終了したら、正常に起動するか確認します。

### 29. ベリカットの起動

30.

デスクトップ内の『ベリカット 9.4.x』のアイコン、または Windows のスタートメニューで、『CGTech ベリカット 9.4.x』グループにあるアイコン『 VERICUT 9.4.x』を選択し、ベリカットを実行して正常に起動できることを確認します。



## 付録(1) ベリカットのアンインストール

通常はWindowsのスタートメニューで、[スタート]>[CGTech ベリカット 9.4.x Utilities]グループの中にある[CGTech ベリカット 9.4.x をアンインストール]を実行します。

JavaVMエラーが出る際は次の手順でJavaのランタイム環境を整えた上でアンインストールを行って下さい。

- (1) ベリカット FAQ サービス(<https://faq.vericut.jp/>)のダウンロードサイトで、Javaのランタイム環境を入手し、インストールを実行します。
- (2) インストールが完了したら、以下のファイルを実行してベリカットをアンインストールします。  
C:\Program Files\CGTech\VERICUT 9.x.x\Uninstaller\CGTech ベリカット 9.x.xをアンインストール.exe
- (3) アンインストールの完了後にWindowsプログラムメニューとインストールフォルダーを手動で削除します。

## 付録(2) ベリカットの動作環境

- 2又は3ボタンのマウス（マウスホイール付の3ボタンマウスを推奨します。）
- ネットワーク接続を有するハードウェア
- 16ビット(65万色/High Color)以上のグラフィックスカード
- ハードウェアグラフィックスアクセラレータが必須です(NVIDIA社製GPUを推奨します)。  
グラフィックスメモリは2GB GPU RAM(推奨4GB)以上が必要です。
- 画面解像度は1920×1080以上必要です(低解像度の場合、一部縦方向の表示が切れる場合があります)。
- メモリは最小16GB、推奨は32GB以上です。

ディスク容量	フルインストール時8GB以上の空き容量(ライブラリー、サンプル、電子マニュアルを含む) 各オプションを追加する際は上記より空き容量が必要になる場合があります。 *インストール時は、上記に加え2GB以上の空きディスク容量が必要です。
ページファイル	物理メモリの2倍を推奨します。
Windows OS	Windows10 64bit (CATIA-V5 インターフェイスは Windows Script 5.3 以上) Windows11 64bit (CATIA-V5 インターフェイスは Windows Script 5.3 以上) ※Windows Virtual Machine (VM)等の仮想マシンはサポートしません ※Windows10(32bit版)には対応していません Java Run Time Environment (ベリカットと同時にインストール) Windows C++ランタイムライブラリー(ベリカットに同梱されています)のインストールが別途必要です。
CPU	Intel core i7以上、または Xeon を推奨



## インストール作業中に困ったときは…



### 付録(3) 手順索引

手順番号と作業内容は各構築環境で共通です。

作業フローは巻頭の「はじめに インストール作業の確認」のフローチャートを参照して下さい。

#### 【手順 3】 ライセンスサーバーの「実行ファイルのパス」が CGTech 関連でなかった

ここで確認する「実行ファイルのパス」にベリカット以外のソフトウェアのパスが見えている場合は、既に他社のソフトウェアで使用するため当該プログラムがインストールされている可能性があります。状況により対処方法が異なりますので、技術サポートまでお問い合わせください。

#### 【手順 4】 コマンドプロンプトでのエラーメッセージ(1)

Insufficient permissions error. Only Administrator can run this application

ユーザーアカウント制御(UAC)レベルが高くサーバーのサービス削除が行えない場合に表示されます。

1. 手順1の設定内容を見直し、ユーザーアカウント制御の通知レベルが「通知しない(一番下)」になっていることを確認して下さい。
2. windows にログインしたユーザーアカウントが管理者権限になっていることも確認してください。



#### 【手順 4】 コマンドプロンプトでのエラーメッセージ(2)

Insufficient permissions error. Only Administrator can run this application

UACレベルが「通知しない」に設定されていても、コマンドが管理者権限で実行していないと同様のエラーが発生します。必ず以下の手順を守ってください。

1. スタートメニューから、直接コマンドを実行しない。
2. フォルダー表示で、アイコンを直接起動しない。
3. フォルダー表示のアイコンの上で、右クリック>[管理権限として実行]で起動する。



#### 【手順 7】 インストーラーが起動しない

vericut\_install\_v941.exe を直接実行したのち、5分以上経過してもインストーラーが起動しない場合は、Windows 内に必要なランタイムファイルが登録されていない可能性があります。  
新規のPC、または MicrosoftOffice がインストールされていないPCで発生することがあります。  
ベリカット FAQ サービス(<https://faq.vericut.jp/>)内の「ファイルのダウンロード」より、Java のランタイム環境を入手してインストールしてから、再度お試しください。

#### 【手順 7】 インストーラーで言語選択ができない

インストーラーが起動した際に言語選択が表示されずに、英語版で立ち上がることがあります。  
この現象はJAVAのバージョン 1.7 がインストールされていない時に発生することがあります。  
本現象が発生したときには、次の手順でインストーラーを直接起動してください。  
Windows の[ (スタート)]>[プログラムとファイルの検索]に以下の内容を入力します。

USB版のインストーラーで、USBドライブがUドライブの場合(U:¥)の入力例  
「U:¥ vericut\_install\_v941.exe -l ja\_JP」

実際のパス名は手順5または6で表示したフォルダー名を参照してください。  
オプションパラメーターは「ハイフン・エル(小文字)」と「ja(小文字)\_(アンダーバー)JP(大文字)」です。  
ファイル名とふたつのオプションパラメーターの間はそれぞれ半角スペースで区切ります。

#### 【手順 18】 「インストール後の設定作業」が表示されない

ここでチェックをいれて表示される資料はPDF(Adobe Reader10 以降)形式のものです。  
使用しているPCにPDFファイルを表示するためのソフトウェアがインストールされていないと表示できません。ベリカット内のヘルプに関しても同様です。  
無償の Adobe Reader は、アドビ社の WEB サイトから直接ダウンロードできます。

【手順 25】「ベリカットライセンスファイルの作成」ウィンドウを直接起動させたい

オプションモジュールの追加作業などで、ライセンスの追加登録のみを行う場合は、以下の手順でライセンス登録ウィンドウを起動してから登録作業を行ってください。

1. [スタート]メニューを表示して、更に[CGTech サーバー管理]グループを展開します。
2. [ライセンスサーバーの設定]を実行します。
3. コマンドプロンプトで、キー押下を要求されたら[Enter]キーをその都度押します。
4. 「ベリカットライセンスファイルの作成」ウィンドウが起動します。

以降は手順25の手順に従い、ライセンスファイルの登録を行って下さい。

【手順 25】 コマンドプロンプトでのエラーメッセージ(1)

Error[5]: Cannot talk to the license server on host "xxx(PC名)".Server not running??

ライセンスサーバーを起動できなかったため通信が出来ず、ライセンス情報を正常に追加できなかった場合に表示されるエラーメッセージです。

1. コマンドプロンプトは手動で終了してください。
2. 手順1の設定内容を見直し、ユーザーアカウント制御の通知レベルが「通知しない(一番下)」になっていることを確認して下さい。
3. windows にログインしたユーザーアカウントが管理者権限になっていることも確認して下さい。

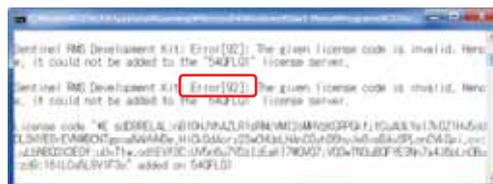


【手順 25】 コマンドプロンプトでのエラーメッセージ(2)

Sentinel RMS Development Kit: Error[92]: The given license code is invalid. Hence, it could not be added to the "xxxx(PC名)" license server.

ライセンス情報をドラッグ&ドロップした際に、何らかの原因(ファイルの破損や、テキストの書式の相違等)でライセンス情報が正常に読み込めない場合に表示されるエラーメッセージです。

ライセンス情報の確認が必要です。技術サポートまでお問い合わせください。



【手順 25】 コマンドプロンプトでのエラーメッセージ(3)

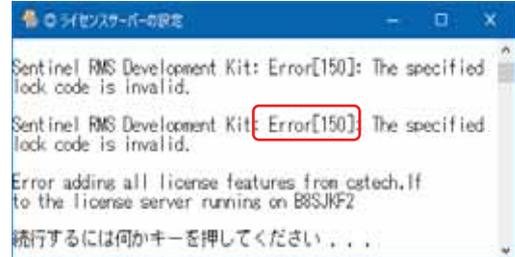
Sentinel RMS Development Kit: Error[150]:The specified lock code is invalid.

ドラッグ&ドロップしたライセンス情報に登録されている内容と、登録しようとしているPCで使用しているネットワークカードのMACアドレスが合致しない場合等に表示されるエラーメッセージです。

また、PCのコントロールパネルで時間の設定が変更された場合にも表示されます。

PCの入れ替え等でMACアドレスが変わった場合は、ライセンス情報の再取得が必要になります。

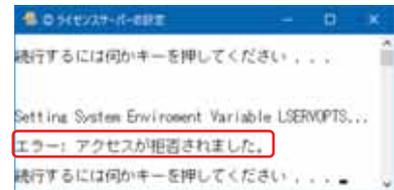
ライセンス再申請の手続きを行ってください。



【手順 25】 コマンドプロンプトでのエラーメッセージ(4) エラー:アクセスが拒否されました。

ユーザーアカウント制御の権限を下げずにライセンス情報を登録しようすると表示されるエラーメッセージです。

手順1(ユーザーアカウント制御の一時的な無効化)を行った上でライセンス情報を登録してください。

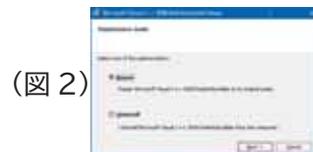


【手順 29】 「共有ライブラリーにアクセスできません」というエラーが出てベリカットが起動しない

マイクロソフトの C++ランタイムライブラリーの関連で発生するエラーで、新規のPC等で発生することがあります。ベリカット FAQ サービス(<https://faq.vericut.jp/>)内の「ファイルのダウンロード」から必要なランタイムライブラリーを入手し、インストールしてから再度お試しください。

(図 1)のようなユーザーアカウント制御の警告メッセージが表示された場合、すべて「はい」を選択して処理を進めてください。

(図 2)のメッセージが表示された場合は、「Repair」を選択してください。



ランタイムライブラリーのインストール時に「ディスク領域が足りません」等のエラーが表示される場合があります。

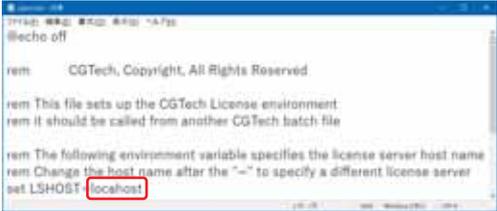
他のアプリケーションのハードウェアキー等がポートに挿入されていないかをご確認ください。該当する場合は、ハードウェアキーを外した状態で、再度インストールをお試しください。

【手順 29】「ライセンスサーバーが見つかりません」というエラーが出てベリカットが起動しない

ベリカットの起動時に設定されているライセンスサーバー名が参照先として見つからないと発生します。インストール時(作業手順11)で変更した場合のスペルミス等が考えられます。現在の設定内容は以下の手順で確認できます。

1. Windows のスタートボタン(☰)をクリックします。
2. [📁 CGTech ベリカット 9.4.x Utilities]グループを展開します。
3. [📄 ライセンスサーバーコンピューターの指定]をクリックします。

4. 表示されたテキストエディタで、10行目付近にある「set LSHOST=」の値を確認します。  
初期設定では「localhost」が指定されます。  
ライセンスサーバー名を変更している場合は、正しい名前になっていることを確認して下さい。



```
echo off
rem
rem   CGTech, Copyright, All Rights Reserved
rem
rem This file sets up the CGTech License environment
rem It should be called from another CGTech batch file
rem
rem The following environment variable specifies the license server host name
rem Change the host name after the "-" to specify a different license server
set LSHOST= localhost
```

2024年2月13日 第31版発行 (V9.4)

VERICUT および OptiPath は CGTech 社の登録商標です。

AUTO-DIFF は CGTech 社の商標です。

その他の会社名及び製品名は一般に各社の商標または登録商標です。

【ベリカット FAQ】 <https://faq.vericut.jp/>

FAQ のアカウントとパスワードは、メンテナンス・サービスにご加入のお客様に発行しております。

株式会社 CGTech

〒171-0021 東京都豊島区西池袋 1-5-3 エルグビル 3F

〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内 2-19-25 MS 桜通 5F

【インストールに関する質問】 [support@cgtech.co.jp](mailto:support@cgtech.co.jp)